

# 「高齢者の生活について」

田主丸中学校 三年

私は高齢者の方について考えていこうと思います。高齢者の人のことなんて自分には関係ないと思っている人が多いと思います。しかし、高齢者の方について考えることはとても大切だと思います。自分たちが高齢者になったときの生活はどうなっているのかしっかり考えるべきだと思います。

私のおばあちゃんは最近、足が痛いと言ったりするのが遅く、階段などもとてもつらそうです。その度私は階段に手すりやスロープがあったらいいなと思います。おばあちゃんと水族館に行ったときなど階段がとても多く人も混雑していました。そして、スロープはないのかな？と思いあたりを見回していると遠くにスロープがありました。私はこれをとても疑問に思いました。スロープは足が不自由な人のためにあるのになんで遠い場所にあるんだろうと思いました。結局はスロープまで行きました。スロープ

について登ろうと思ったら、スロープはとても長く道がクネクネしていて幅も狭く、車椅子の人はとても大変なんだろうなと思いました。おばあちゃんとおしゃべりをしながらやっとスロープを登り終えることができました。おばあちゃんより若い私だけこのスロープはとても疲れ、おばあちゃんはまだ疲れていなかったと思います。これを自分が体験して、もし、困っている高齢者の方やきつそうにしている人を見つけたら迷わず声をかけていこうと思いました。私は夏休みにおばあちゃんと一緒に旅行に行きます。その旅行の話をするたびにおばあちゃんは、「最後の旅行になるね。」と言います。その言葉を聞いたたび私は何て言えばいいのかわからなくなります。私は、おばあちゃんにもっと長く生きてほしいという思いがあります。今、おばあちゃん一人暮らしをしています。私のお母さんは火葬場で働いています。よく、亡くなって火葬場にきた方の話を聞きます。その多くが高齢者で孤独死でくると聞きます。孤独死とは、高齢者が多く家で一人暮らしをしていて

一人でなくなり、それに気づく人がいなく少し時間が経って近所の人が発見してくれることを言います。私は、おばあちゃんが毎日家で元気に生活をしているのかとても気になります。なので、私はよくおばあちゃんに電話をかけてお話をしています。でも、おばあちゃんは最近スマホに変えたばかりであまり操作に慣れていません。スーパーなどに行っても、セルフレジしかないところが多くいつも私が隣りにいて一緒に手伝っています。ご飯を食べに行ったときも、最近は、メニューが紙ではなくなっていて、パソコンなどコンピューターでの注文が多くなっています。その時も毎回私が注文してあげています。便利になっていていいなと思う反面、もっと高齢者のことを考えてほしいと思いました。

私はこの経験を通して、もっと高齢者の方が生活しやすい環境作りや手助けをしていきたいと思いました。困っている人を見つけたら迷わずに助けに行くことのできる人間になりたいです。